※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新　数学 A(数研出版)						
副教材等	改訂版書き込み式シリーズ【基本～標準】教科書傍用パラレルノート数学 A (数研出版株式会社)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する → 結果を予想する → 解決の方向を構想する → 解決する → 解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中の式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のプリントについては板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自身で気付いたことなどをプリントにメモしていきましょう。

２　学習の到達目標

a: 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
b: 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。
c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　場合の数と確率	第1節　場合の数 1　集合の要素の個数 2　場合の数 3　順列･組合せ	a:和集合や補集合について理解し、ベン図を利用して要素の個数を求めることができる。 b:順列・組合せを関連付けて考え、見方を変えて考察することができる。	定期考査 小テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		第2節　確率 1　確率の基本性質 2　独立な試行と確率 3　条件付き確率 4　期待値	a:確率の定義や基本性質を理解し、様々な事象の確率を求めることができる。 b:確率の理解を深め、集合と結びつけて考察することができる。 c:日常の事象における不確実な事柄について判断する際に、期待値を用いて比較し、考察しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	第2章　図形の性質	第1節　平面図形 1　三角形の外心・内心・重心 2　チェバ・メネラウスの定理 3　円	a:三角形や円の基本的な性質を理解している。 b:図形の性質を論理的に考察するし、辺の長さや角度を求めることができる。 c:　三角形や円のさまざまな性質について、いろいろな方法で調べようとする。	定期考査 小テスト	定期考査	提出ノート ワークシート 振り返りシート
		第2節　空間図形 1　直線と平面 2　空間図形と多面体	a:空間における２直線の位置関係やなす角を理解している。 b:空間における直線と平面が平行や垂直になるかどうかを、与えられた条件から考察することができる。 c:空間における位置関係について積極的に考えてみようとする。	定期考査 小テスト	提出ノート	提出ノート 振り返りシート
3学期	第3章　数学と人間の活動	1　約数と倍数 2　最大公約数・最小公倍数 3　ユークリッドの互除法 4　記数法	a:約数・倍数の意味を理解し、素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求めることができる。 b:日常的な問題について、１次不定方程式と関連付けて考察することができる。 c:数学史の話題を通じて、数の表し方に興味・関心をもち、記数法について考察しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査	観察 提出ノート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度